

語で「生活」という意味になります。母体のタカラフレーベンは東京都の城北である板橋区から埼玉県にかけて当初は戸建住宅を供給していました。パブリック性のある住宅供給という理念が社名の由来となった、ともいえます。私はタカラフレーベンで長らく営業本部長を経験し、ユーチャーのきめ細かなニーズを肌で感じてきましたが、現在の管理会社を運営するうえでも大変役立つているように思えます。

保東 二十年ほど前からマントンを供給するようになり、当時は独立系の管理会社に管理を依頼していたのですが、現在はレー・ベンミニューチ、イギリスが管理の主体となり、今期三月末で管理戸数は約一万一千戸、同期の母体からの供給戸数は約一千八百戸となりました。

弊社がマンションの管理を手がけて以来の誇りにしている事に、ここ四、五年にかけて他社にアレースされた物件が一つもないという点です。これは何よりも、管理運営に対する弊社の姿勢が、管理組合及び居

築十年たつまで一次取得者が多い。つまり、若い居住者層が比較的多いことにあります。そこで、フロントの人材もすべて中途採用ではなく、新卒を積極的に採用し、一定期間教育してから物件に対する愛着を深めるように教育指導していくのです。

一面クレーム産業でもあるわけです。若いフロントマンが多いといふことは、ソフトワークがいいといふことです。弊社の場合「迅速的に動き苦情から逃げるな」といった格言があります。クレームに果敢に取り組むことで、お客様との本当の信頼関係を築くことができる、といふ意味です。私もい

保東 他社にリブレー
された物件が皆無である
かりに弊社の取り組む姿勢
が「レーベンのマンション」
は住み心地がよい」とや
り口コミで広がり、いわば
個々の居住者が「モチベー
ーム」となって母体の販売
にも貢献して頂いているよ
うです。

まだ、弊社に対する居住

は、入力は多様ですが、一部上場企業の長や学校の校長経験者な
小木曾 そういうた指導員は実際にどういう形で理員を指導しているのか。
長線上でマンション関連の体からクレーム。苦情のデータを取り寄せ、それを基底的に分析して指導員が現場の管理員に伝授していく。現場でクレーム。苦情が発生した場合、管理員は自分で処理するか、あるは迅速に本社をはじめ他に振るかによって事の事態。

は中規模以上のマン・ショード機能しています。こ
いった管理組合に管理者の理を提案していくことが
うなのは検討の余地があります。それよりも理事
体制がいかに継続性を保
ながら管理運営を成し得
か、について管理会社と
てのきめ細かな提案を磨
ていかなければなりません。
たとえば、長期修繕
画に基づく計画修繕な
は大規模修繕工事といふ
義を考えてみます。あくま
で建物が劣化しないため
日頃からきめ細かい提案

う
ち
ン
転勤したとか、あるいは、み替えて専有部分に空き部屋を借りては、当社が借りて賃貸に出します。専有部分の空きをださず家賃保証しなければならないまでのオーナーとの信託契約が軸になります。当社が頼りないなら他の動産関係機関に依頼するでしょう。当社の信頼のバーメーターともなります。つまりところ、将来的には、信託方式による管理も、まことに信頼関係を築き得るにかかっていると想い

まかい会に 口で不[。]べ、を有上が住

「迅速に動き 苦情から逃げるな」をモットーに

クレーム産業を徹する

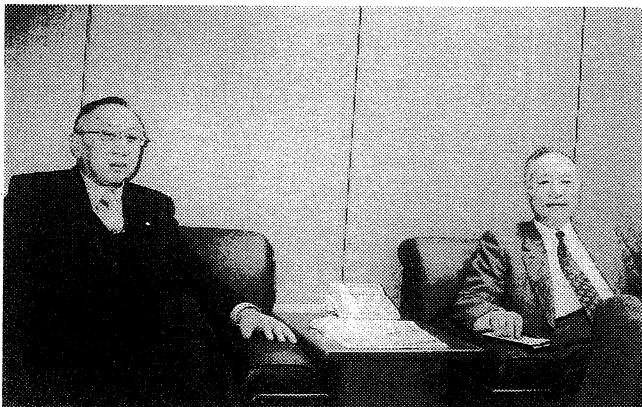
ホスト

有限責任中間法人日本マンション管理協会
理事長 小木曾忠孝氏

URL <http://www.nmkk.jp/>

ゲスト 株式会社レーベンコミュニケーションズ

代表取締役 保東 實田



対談する保東實氏（左）と小木曾忠幸氏

持管理では日常提案に注力
後サブリース事業を計画
関係に基づく「信託方式」で

大きな変化します。プロの指導員なので、えは、昨年四月に施行された個人情報保護法についても、管理費が対応すべく勢についてきめ細かなを現場でを行い、その手良さに管理組合から感を頂いた事例もありました。小木曾かつて、分シヨンの創成期の頃なテベの販売担当者は、に対して「入居してものわすらわしさでご迷惑おかけしません」といセールスポイントだうです。いわゆる理事

され たと
て、主 いた
く、主 いて
顧客 か。つまり、大規模修
理工事が必要なのが
事ですべてをひと括り
指導き姿 する。
際の 計画的な修繕を実施す
謝状 という姿勢が弊社の水
準です。
ーあります。

味を思ふ、細めの建物に対する工事規模